

2020年 東京都のHIV感染者・AIDS患者の動向及び 検査・相談事業の実績



HIV感染者・AIDS患者の発生動向

- ・令和2年、東京都におけるHIV感染者とAIDS患者をあわせた新規報告数は383件（令和元年406件）であり、HIV感染者、AIDS患者の新規報告数はそれぞれ304件と79件であった。
- ・全国の報告数に占める東京都の割合は、HIV感染者が約41%、AIDS患者が約23%であった。
- ・国籍別及び性別では、HIV感染者とAIDS患者をあわせた新規報告数は、日本国籍男性が319件（83%）と最も多かった。外国籍男性は、前年より2件増加し55件（14%）であった。
- ・推定感染経路別では、HIV感染者の89%、AIDS患者の78%が性的接触であり、いずれにおいても同性間性的接触の占める割合が最も大きかった。
- ・年齢階級別では、HIV感染者報告数は20歳代（39%）と30歳代（34%）が多く、AIDS患者報告数は40歳代（34%）と50歳代（29%）が多かった。
- ・推定感染地別では、HIV感染者とAIDS患者をあわせた新規報告数は、国内感染が328件（86%）であった。
- ・AIDS患者報告数のうち、ニューモシスティス肺炎の発症を契機に診断されたAIDS患者が49件（62%）と最も多かった。



相談・検査・療養体制

- ・令和2年、エイズ電話相談件数は、昨年より11,510件（55%）減少した。
- ・「東京都HIV/エイズ電話相談」の相談者は、性別では男性、年齢では20歳代と30歳代が多かった。相談内容は、感染不安や感染経路に関するものが多かった。
- ・令和2年のHIV検査件数は、新型コロナウイルス感染症への対応に伴う保健所検査の休止や、外出自粛要請に伴う受診控え等の影響により、特別区保健所、多摩・島しょ地域保健所、東京都南新宿検査・相談室、東京都多摩地域検査・相談室ともに前年より減少した。また、特別区保健所、東京都南新宿検査・相談室、東京都多摩地域検査相談室において、陽性率が前年度より高くなった。
- ・免疫機能障害による身体障害者手帳の交付数は年々増加し、令和2年は、免疫機能障害による身体障害者手帳交付数は前年より410件（4.5%）増加した。

本「AIDS News Letter No.179（資料編）」は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づいて、東京都に令和2年に法定報告されたHIV感染者とAIDS患者の統計及び区・都の保健所等における相談・検査業務の実績をまとめ、分析したものである。

なお、HIV感染者・AIDS患者の報告数、相談件数、検査件数については、過去のデータを見直し、更新されている。

図表中では、平成をH、平成元年をH1、令和をR、令和元年をR1、東京都南新宿検査・相談室を南新宿、東京都多摩地域検査・相談室を「多摩地域」と記載した。平成19年4月より八王子保健所は八王子市保健所、平成23年4月より町田保健所は町田市保健所となったが、経年比較をするため「多摩・島しょ地域保健所」に含めて計上している。また、特別区保健所、八王子市保健所及び町田市保健所を含む多摩・島しょ地域保健所を合わせて、「都内保健所」と表現した。東京都多摩地域検査・相談室については、平成25年度までは多摩・島しょ地域保健所に合算、平成26年度からは別掲とした。

また、「東京都エイズ電話相談」は、平成25年4月から「東京都HIV/エイズ電話相談」に名称変更している。

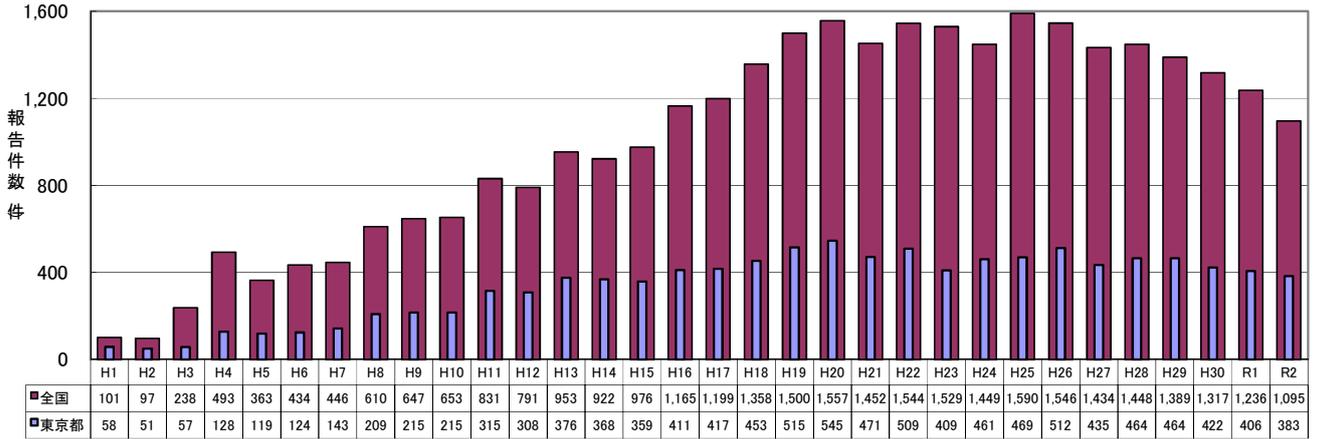
目 次

| I HIV感染者及びAIDS患者の発生動向 | | | |
|---------------------------|-------------------------------------|------------------|---|
| P.3 | 1-1 | HIV感染者とAIDS患者の総計 | 東京都と全国の報告数年次推移 |
| | 1-2 | HIV感染者とAIDS患者の総計 | 東京都の推定感染経路別報告数年次推移 |
| | 1-3 | HIV感染者とAIDS患者の総計 | 東京都の推定感染地別報告数年次推移 |
| P.4 | 1-4 | HIV感染者とAIDS患者の総計 | 東京都の国籍別・性別報告数年次推移 |
| | 1-5 | HIV感染者とAIDS患者 | 東京都のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移 |
| | 1-6 | HIV感染者とAIDS患者 | 全国のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移 |
| P.5 | 1-7 | HIV感染者とAIDS患者 | 東京都以外のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移 |
| | 1-8 | HIV感染者 | 全国に占める東京都のHIV感染者報告数割合年次推移 |
| | 1-9 | HIV感染者 | 東京都のHIV感染者の国籍別・性別報告数年次推移 |
| P.6 | 1-10 | HIV感染者 | 東京都のHIV感染者の推定感染経路別報告数年次推移 |
| | 1-11 | HIV感染者 | 東京都の日本国籍男性におけるHIV感染者の推定感染経路別報告数年次推移 |
| | 1-12 | HIV感染者 | 東京都のHIV感染者の年齢別・推定感染経路別報告割合（令和2年） |
| P.7 | 1-13 | HIV感染者 | 東京都のHIV感染者の年齢別報告数年次推移 |
| | 1-14 | AIDS患者 | 全国に占める東京都のAIDS患者報告数割合年次推移 |
| | 1-15 | AIDS患者 | 東京都のAIDS患者の国籍別・性別報告数年次推移 |
| P.8 | 1-16 | AIDS患者 | 東京都のAIDS患者の推定感染経路別報告数年次推移 |
| | 1-17 | AIDS患者 | 東京都の日本国籍男性におけるAIDS患者の推定感染経路別報告数年次推移 |
| | 1-18 | AIDS患者 | 東京都のAIDS患者の年齢別・推定感染経路別報告割合（令和2年） |
| P.9 | 1-19 | AIDS患者 | 東京都のAIDS患者の年齢別報告数年次推移 |
| | 1-20 | AIDS患者 | 東京都のAIDS指標疾患（令和2年） |
| II 相談・検査・療養体制 | | | |
| P.10 | 2-1 | HIV/エイズ電話相談 | 東京都のHIV/エイズ電話相談件数年次推移 |
| | 2-2 | HIV/エイズ電話相談 | 「東京都HIV/エイズ電話相談」における相談者の性別（令和2年） |
| | 2-3 | HIV/エイズ電話相談 | 「東京都HIV/エイズ電話相談」における相談者の年齢（令和2年） |
| P.11 | 2-4 | HIV/エイズ電話相談 | 「東京都HIV/エイズ電話相談」の相談内容（令和2年） |
| | 2-5 | HIV検査 | 東京都のHIV検査件数年次推移 |
| P.12 | 2-6 | HIV検査 | 東京都のHIV検査における陽性件数・陽性率年次推移 |
| | 2-7 | 医療機関 | 東京都のHIV感染者報告の届出別割合（平成26年～令和2年） |
| | 2-8 | 身体障害者手帳 | 東京都のHIV感染者・AIDS患者累積報告数と身体障害者手帳（免疫機能障害）交付数年次推移 |
| P.13 | 2-9 | 性感染症検査 | 東京都内の保健所、東京都南新宿検査・相談室での性感染症検査件数と陽性件数（令和2年） |
| III 世界及び全国のHIV感染者・AIDS患者数 | | | |
| P.14 | 世界のHIV/AIDS流行状況2020年末現在（UNAIDS/WHO） | | |
| | 日本のHIV感染者、AIDS患者累計数2020年末現在（厚生労働省） | | |

1. HIV感染者及びAIDS患者の発生動向

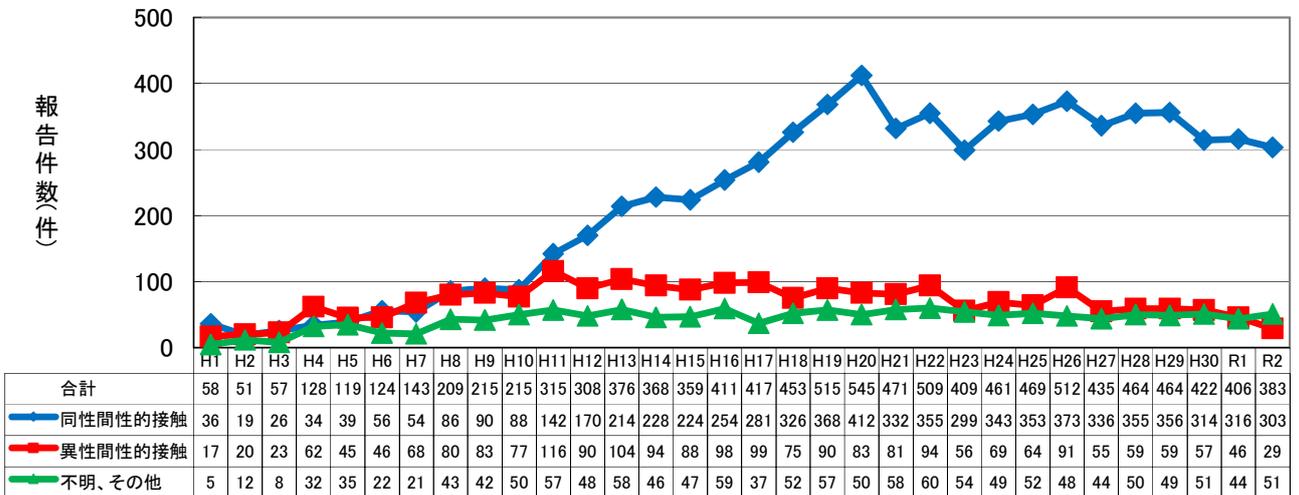
[HIV感染者とAIDS患者の総計 (HIV+AIDS)]

1-1
東京都と全国の報告数
年次推移



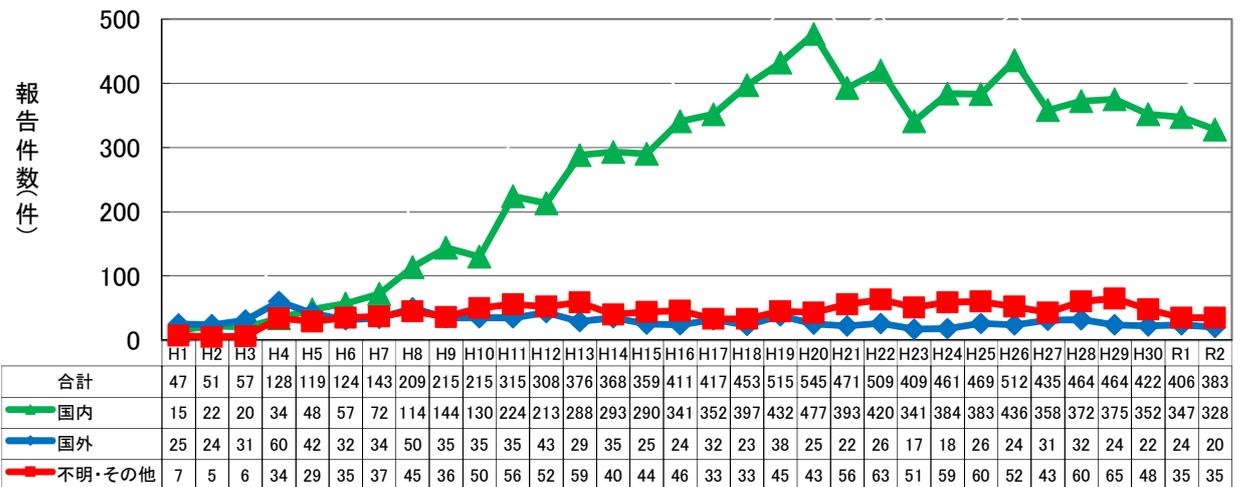
HIV感染者とAIDS患者をあわせた新規報告数は、東京都では前年より23件減少し383件、全国では前年より141件減少し1,095件であった。

1-2
東京都の推定感染経路別報告数
年次推移



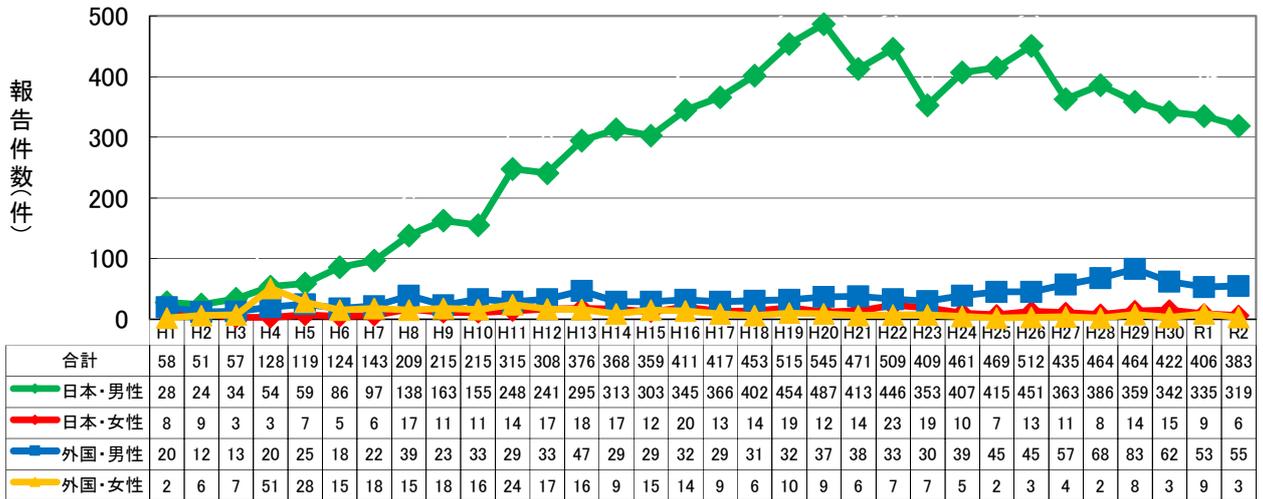
推定感染経路別では、同性間性的接触(両性間性的接触含む)による報告数は、平成20年の412件をピークにその後は300~350件程度で推移している。異性間性的接触は、平成23年以降(平成26年の91件を除いて)は、50件~60件程度で推移していたが、令和2年は29件に減少した。

1-3
東京都の推定感染地別報告数
年次推移



推定感染地別では、国内感染は前年より19件減少し328件であり、国外感染は平成20年以降、20件~30件程度で推移している。

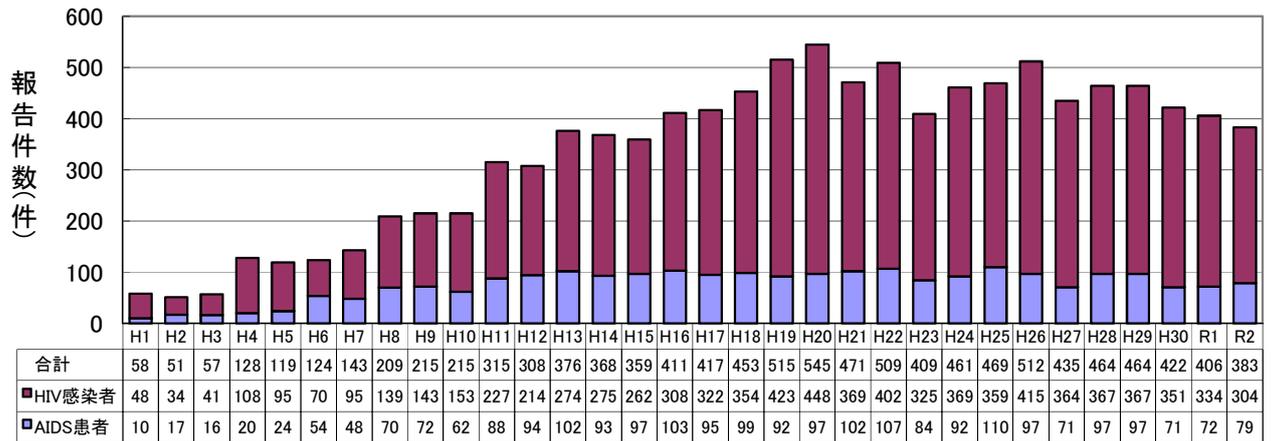
1-4
東京都の国籍別・性別報告数年次推移



国籍別および性別では、日本国籍男性の報告数は前年より16件減少し319件であった。日本国籍女性及び外国籍男性・女性の報告数に大きな変化はなく推移している。

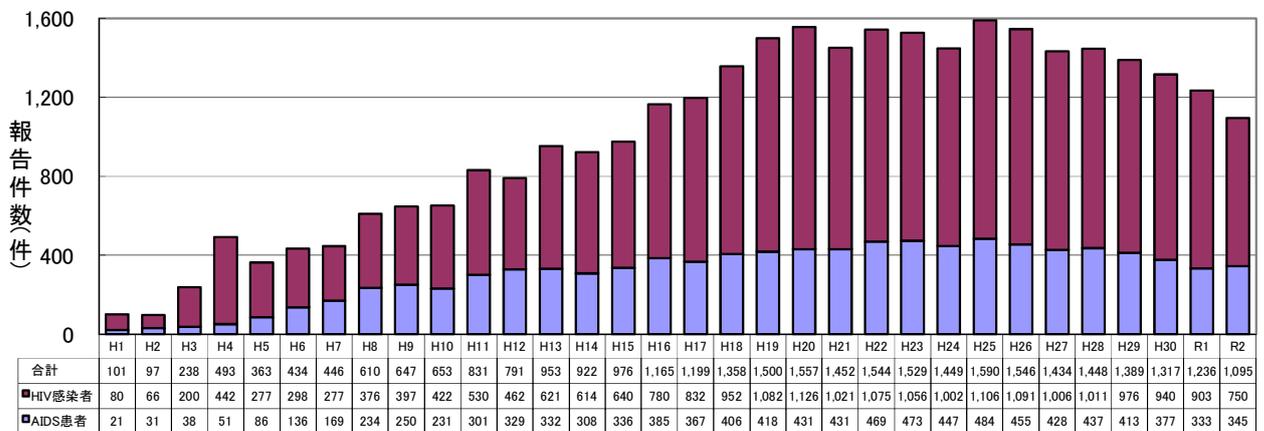
[HIV感染者とAIDS患者 (HIV/AIDS)]

1-5
東京都のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移



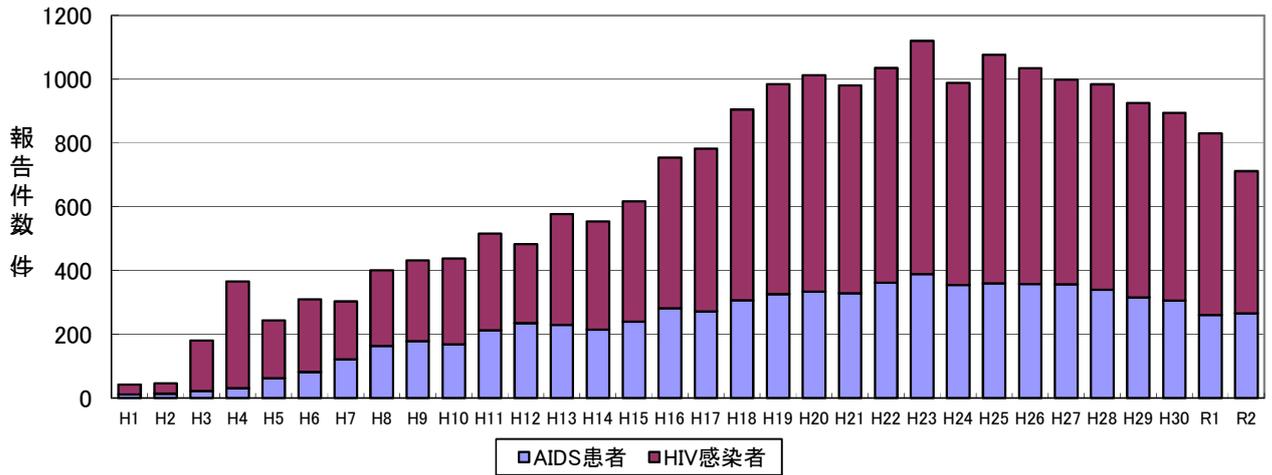
東京都におけるHIV感染者報告数は前年より30件減少し304件であり、AIDS患者報告数は前年より7件増加し79件であった。

1-6
全国のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移



全国におけるHIV感染者報告数は、前年より153件減少し750件であった。AIDS患者報告数は前年より12件増加し345件であった。HIV感染者とAIDS患者をあわせた報告数の32%がAIDS発症によりHIV感染が判明している。

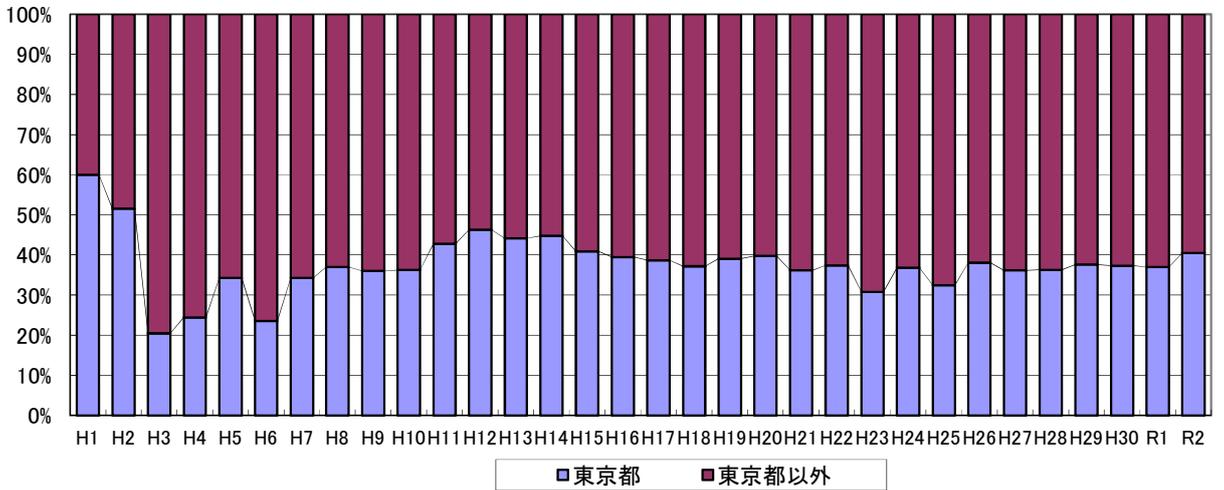
1-7
東京都以外の
HIV感染者とAIDS患者
報告数年次推移



東京都以外のHIV感染者報告数は前年より減少したが、AIDS患者報告件数は前年より増加した。

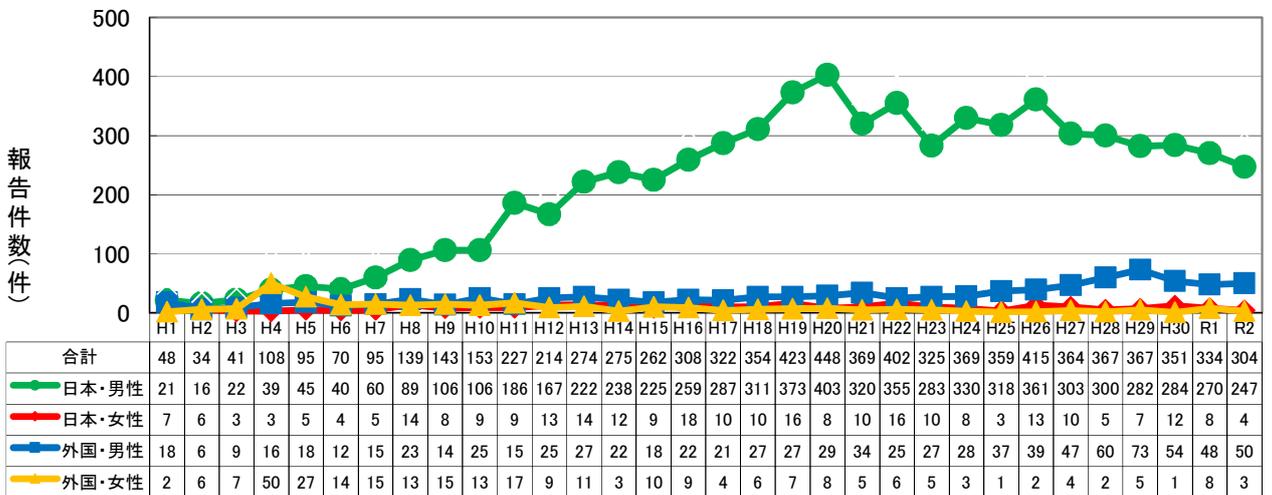
[HIV感染者 (HIV)]

1-8
全国に占める
東京都の
HIV感染者
報告数割合
年次推移



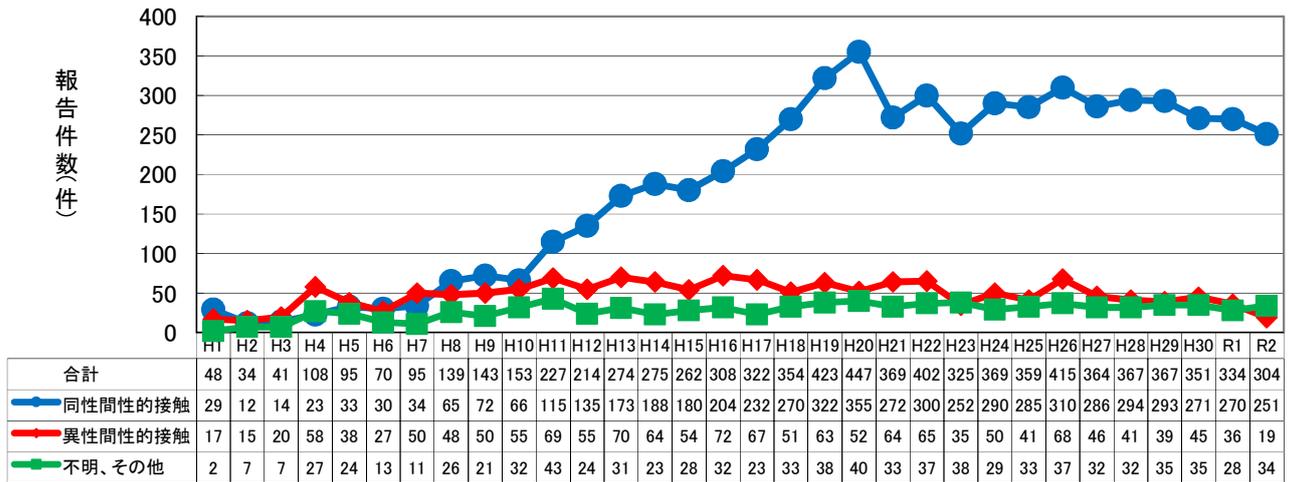
東京都のHIV感染者報告数は、平成26年以降、全国の報告数の35%から40%で推移している。

1-9
東京都の
HIV感染者
の国籍別・
性別報告数
年次推移



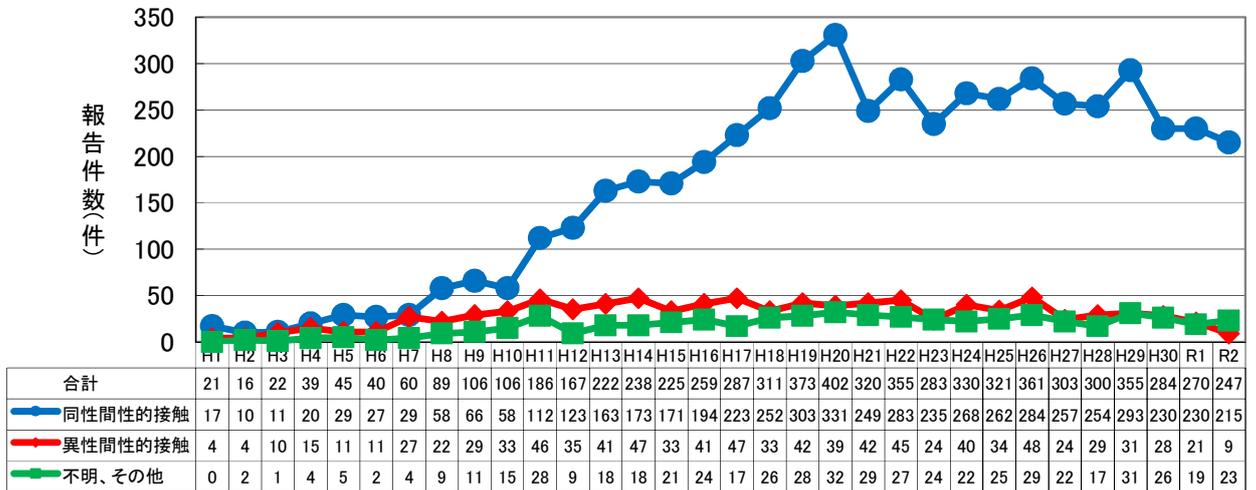
国籍別および性別では、日本人国籍男性の報告数は前年より23件減少し247件であった。外国籍男性の報告数は、前年より2件増加し50件であった。

1-10
東京都のHIV感染者の推定感染経路別報告数年次推移



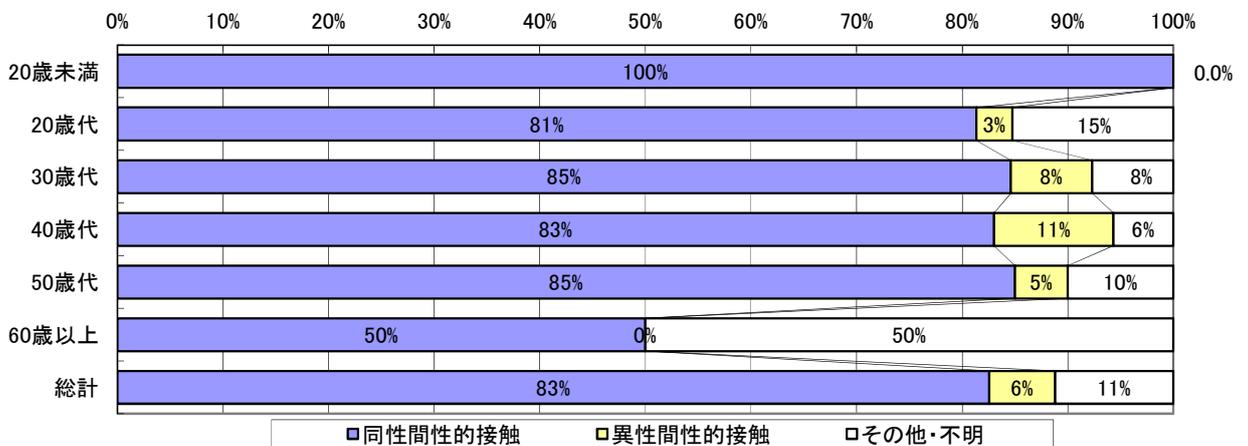
東京都のHIV感染者の報告のうち、同性間性的接触(両性間性的接触含む)の報告数は平成20年の355件をピークに翌年以降はほぼ横ばいであり、令和2年は251件であった。

1-11
東京都の日本国籍男性におけるHIV感染者の推定感染経路別報告数年次推移



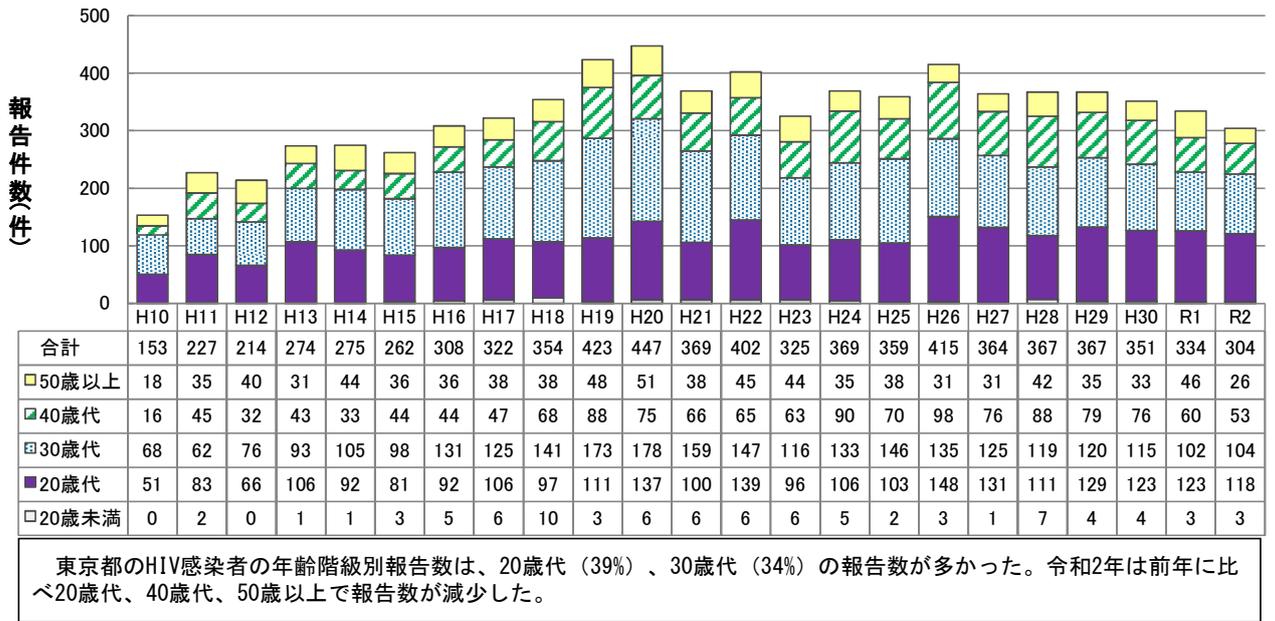
日本国籍男性におけるHIV感染者のうち感染経路別では、同性間性的接触(両性間性的接触含む)の報告数は、平成20年の331件をピークに翌年以降200件台で推移している。一方、異性間性的接触の報告数は平成7年以降は20件~40件台で推移していたが、令和2年は9件に減少した。

1-12
東京都のHIV感染者の年齢別・推定感染経路別報告割合(令和2年)



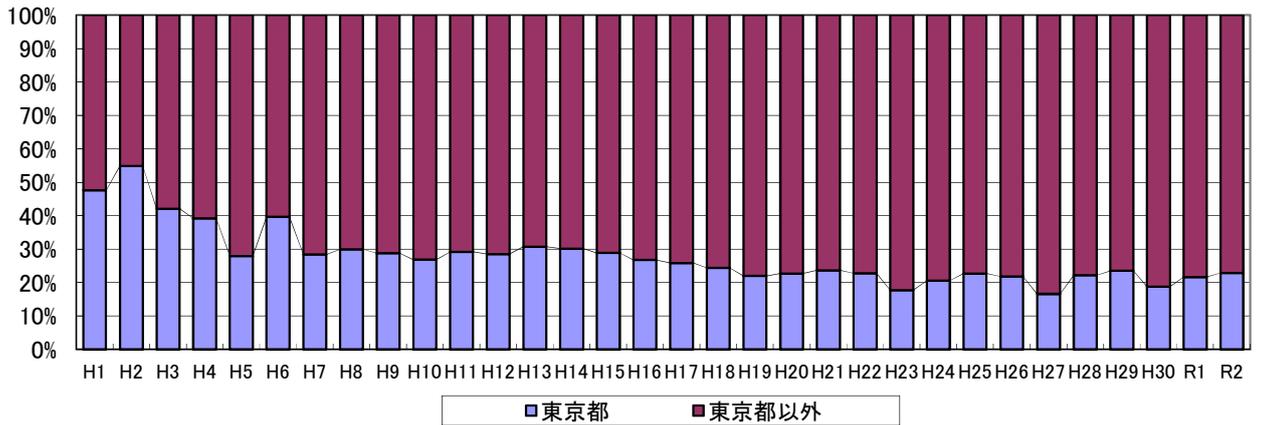
東京都のHIV感染者のうち、感染経路別では同性間性的接触(両性間性的接触含む)の割合が、20歳未満は100%、20歳~50歳代は約80%、60歳以上は約50%を占めていた。

1-13
東京都の
HIV感染者
の年齢別報
告数年次推
移



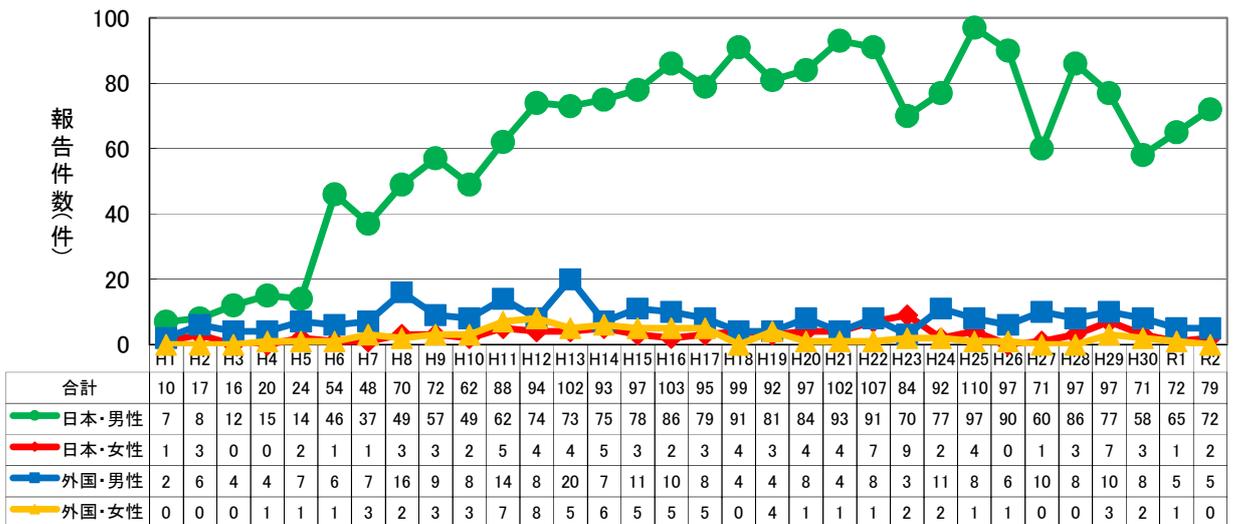
[AIDS患者 (AIDS)]

1-14
全国に占め
る東京都の
AIDS患者報
告数割合年
次推移



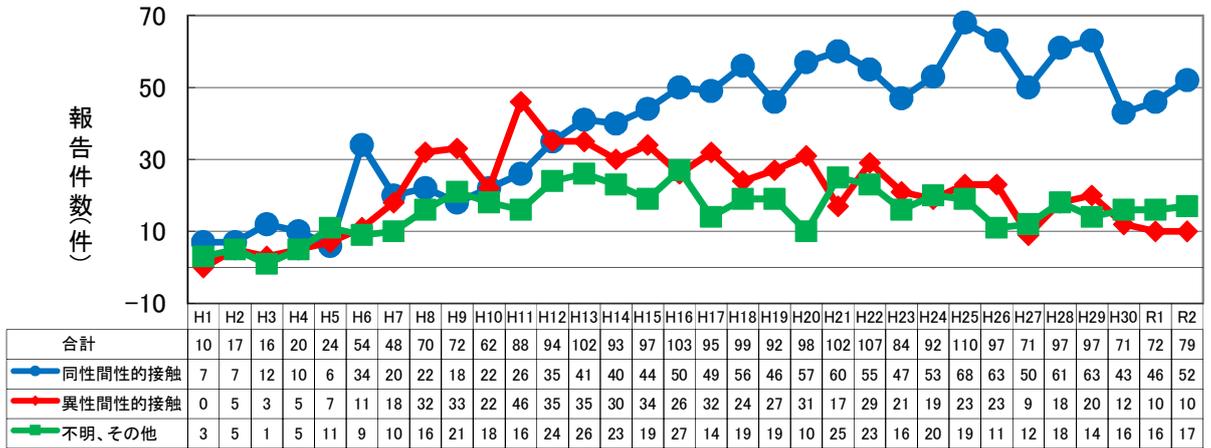
東京都のAIDS患者報告数は、近年、全国の報告数の約20%で推移している。

1-15
東京都の
AIDS患者の
国籍別・性
別報告数年
次推移



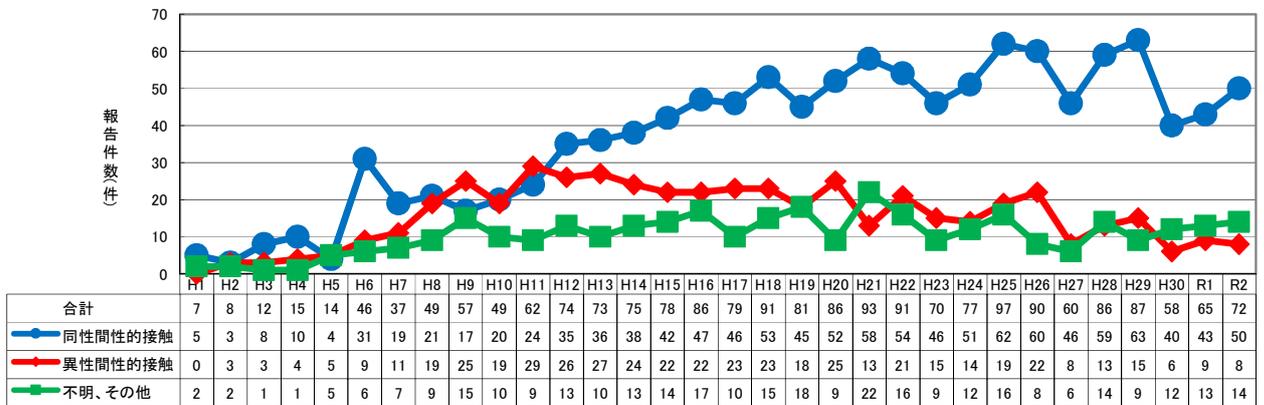
東京都のAIDS患者の報告のうち、国籍および性別では日本国籍男性の報告数は前年より7件増加し72件、日本国籍女性の報告数は前年より1件増加し2件であった。外国籍男性は横ばいであり、外国籍女性の報告数は4年ぶりに0件であった。

1-16
東京都の
AIDS患者の
推定感染経
路別報告数
年次推移



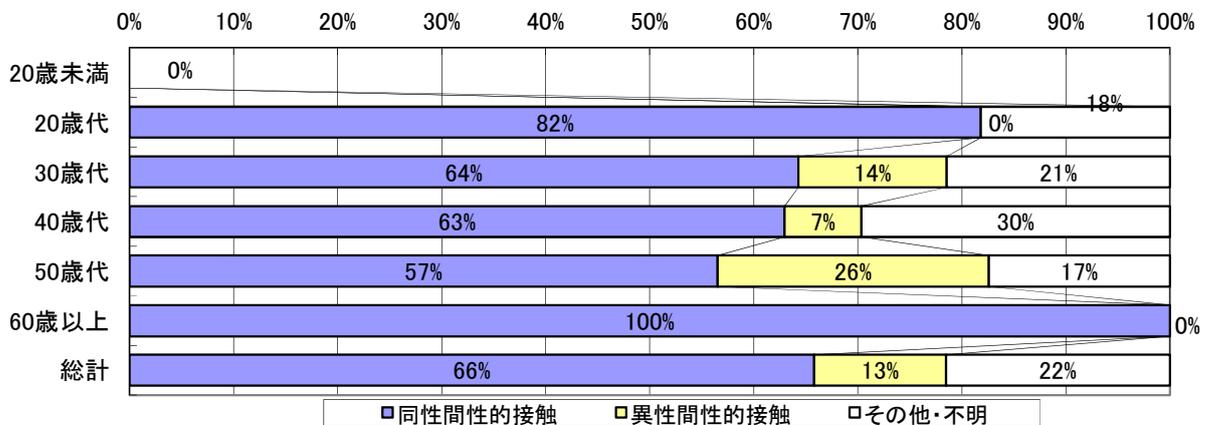
東京都のAIDS患者の報告のうち、推定感染経路別では同性間性的接触(両性間性的接触含む)の報告数は前年より6件増加し52件であった。異性間性的接触の報告数は横ばいであった。

1-17
東京都の日本
国籍男性
における
AIDS患者の
推定感染経
路別報告数
年次推移



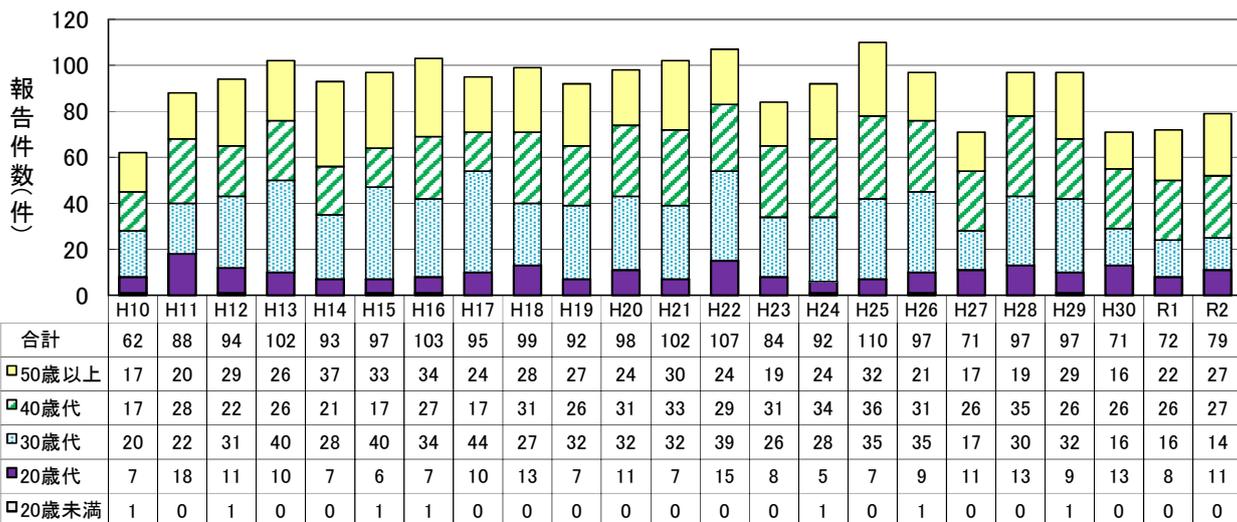
東京都の日本国籍男性におけるAIDS患者の報告のうち推定感染経路別では、同性間性的接触(両性間性的接触含む)の報告数は前年より7件増加し50件であった。

1-18
東京都の
AIDS患者の
年齢別・推
定感染経路
別報告割合
(令和2年)



東京都のAIDS患者の報告のうち、感染経路別では同性間性的接触(両性間性的接触含む)の割合が、20歳代は約80%、30歳~50歳代は約60%、60歳以上は100%を占めていた。

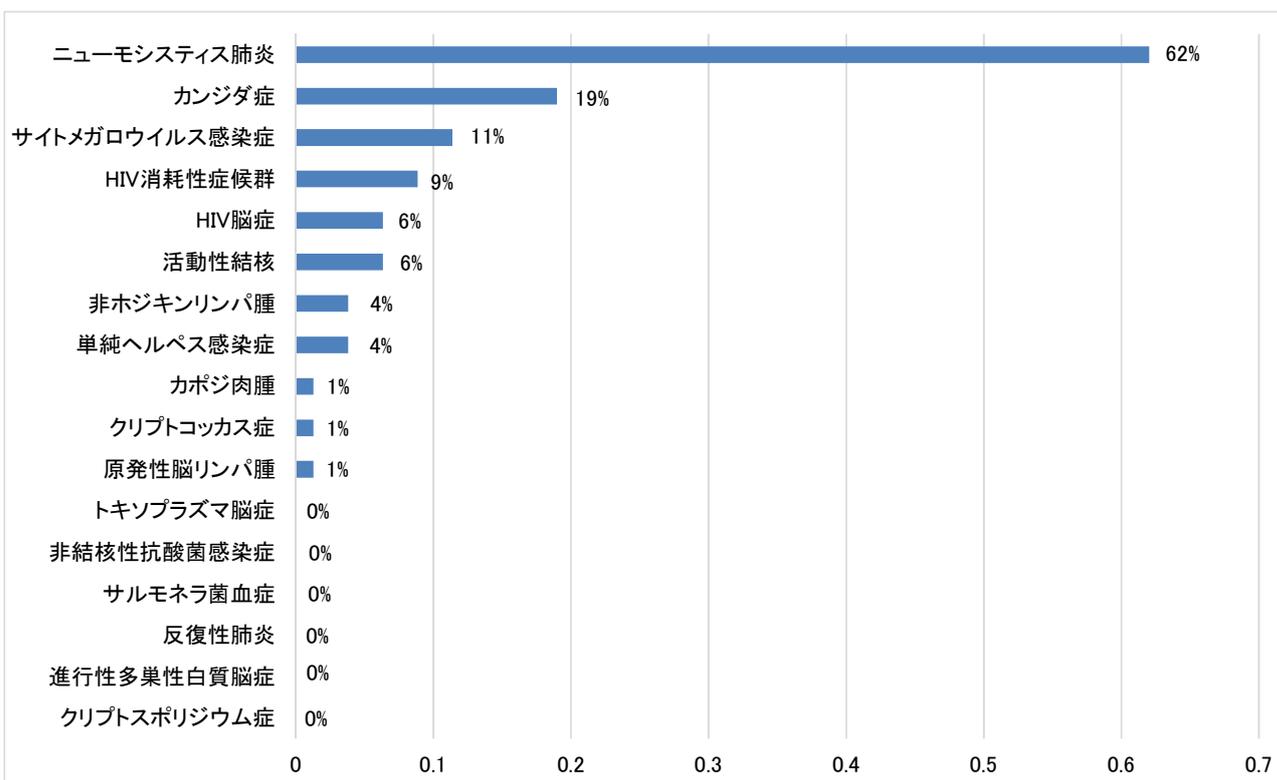
1-19
東京都の
AIDS患者の
年齢別報告
数年次推移



令和2年における東京都のAIDS患者の報告のうち、年齢階級別では40歳代及び50歳代以上(34%)、30歳代(18%)、20歳代(14%)の順に報告数が多かった。

1-20
東京都の
AIDS指標疾
患
(令和2年)

* 複数回答

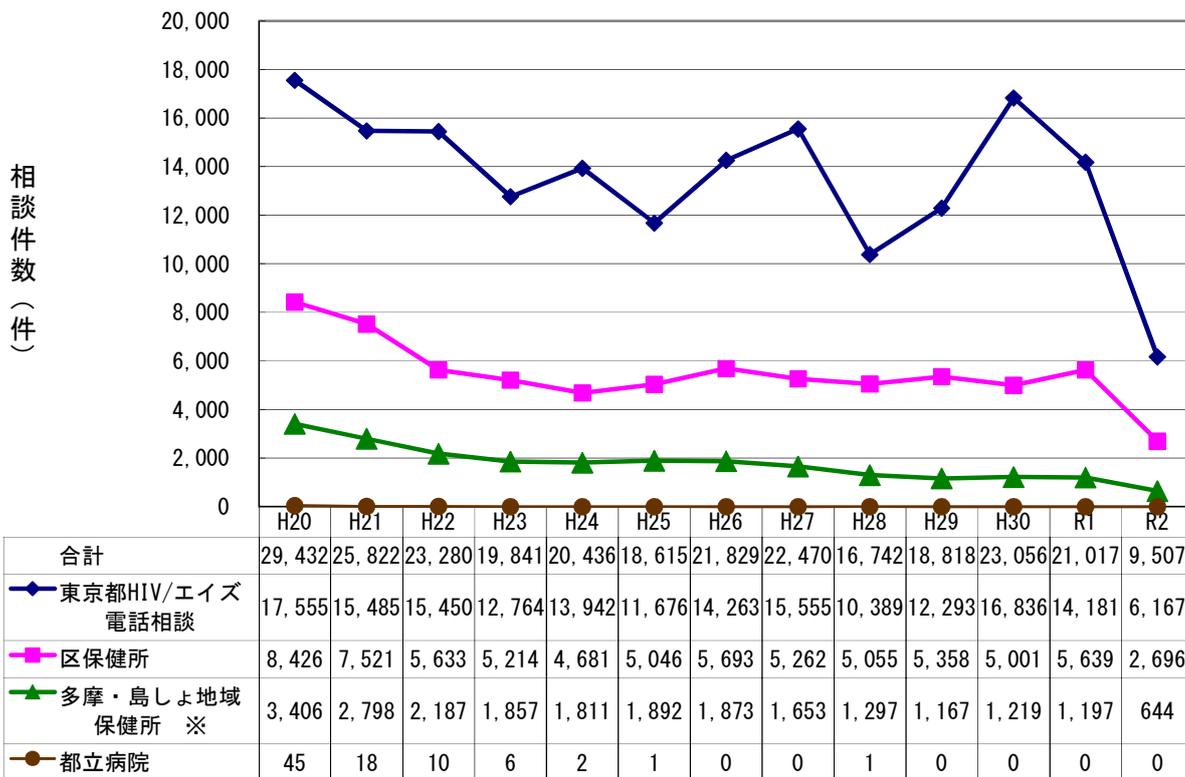


令和2年にAIDSと報告された者の62%がニューモシスティス肺炎によりAIDSと診断されている。次いでカンジダ症(19%)、サイトメガロウイルス感染症(11%)、HIV消耗性症候群(9%)の順で診断されている。

2. 相談・検査・療養体制

[HIV/エイズ電話相談]

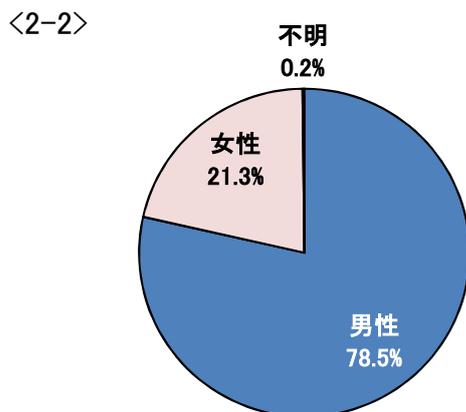
2-1
東京都HIV/
エイズ電話
相談件数年
次推移



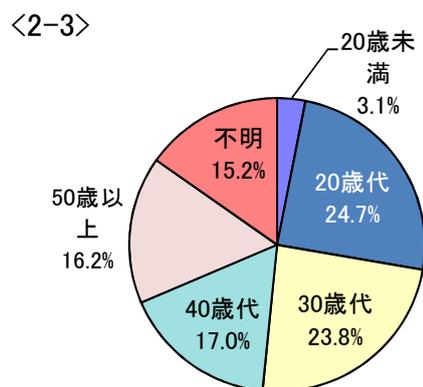
※ 八王子市(平成19年4月より)、町田市(平成23年4月より)は、保健所政令市となり各市設置の保健所になっているが、経年比較のため、多摩・島しょ地域保健所に含めて計上している。

エイズ電話相談は、平成21年以降やや減少した後、平成27年までは2万件前後で横ばいの状況が続いていた。令和2年度は前年と比較して54.8%減少し、9,507件であった。

2-2
「東京都
HIV/エイズ
電話相談」
における相
談者の性別
(令和2年)



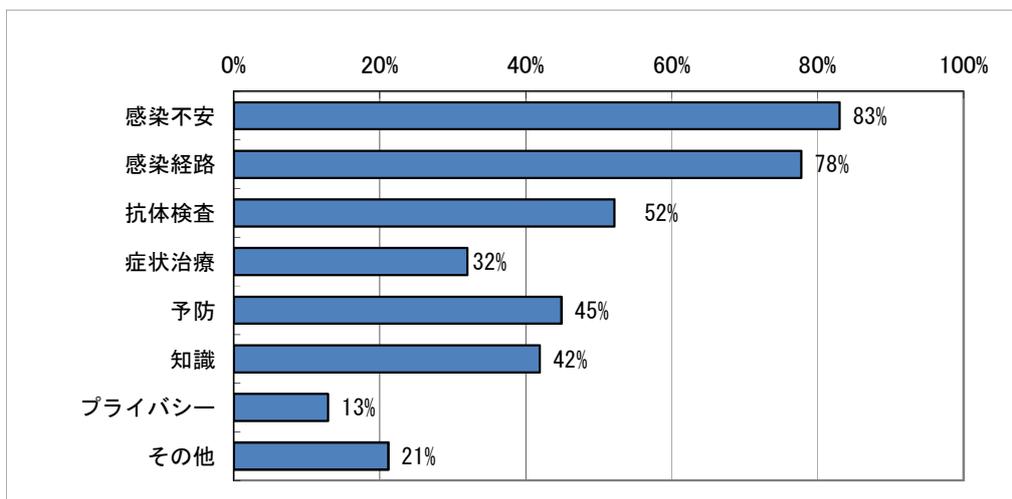
2-3
「東京都
HIV/エイズ
電話相談」
における相
談者の年齢
(令和2年)



性別割合では、男性が78.5%、女性が21.3%であり、昨年と比べ男性の割合が増えた。年齢別に見ると、30歳代以下の相談者が50%以上を占めている。昨年に比べ、50歳代以上の割合が増加した。

2-4

「東京都 HIV/エイズ 電話相談」の相談内容 (令和2年)
* 複数回答

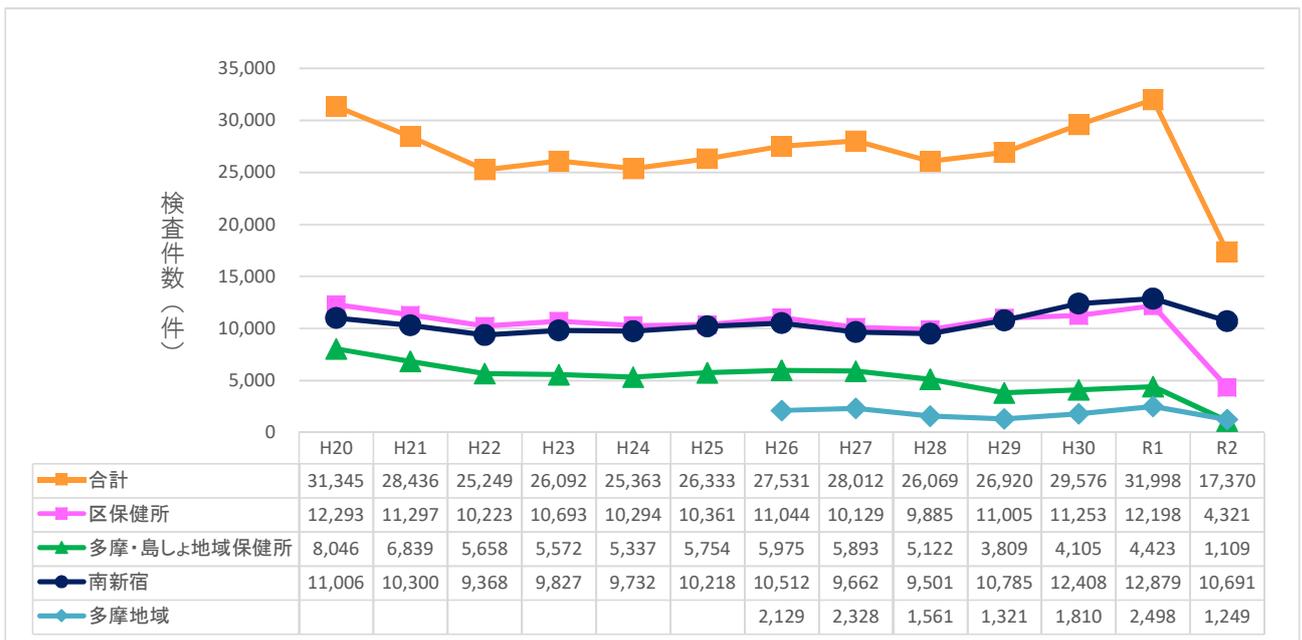


東京都エイズ電話相談の相談内容に関し、感染不安と感染経路が飛びぬけて多い状況はここ数年変わっていない。一方、抗体検査に関する相談が昨年(20%)に比べ増加している。なお、1回の電話で相談内容が多岐にわたることもあるため、複数回答で計上している。また、分類項目から「ノイローゼ」「STI」を外している。

[HIV検査]

2-5

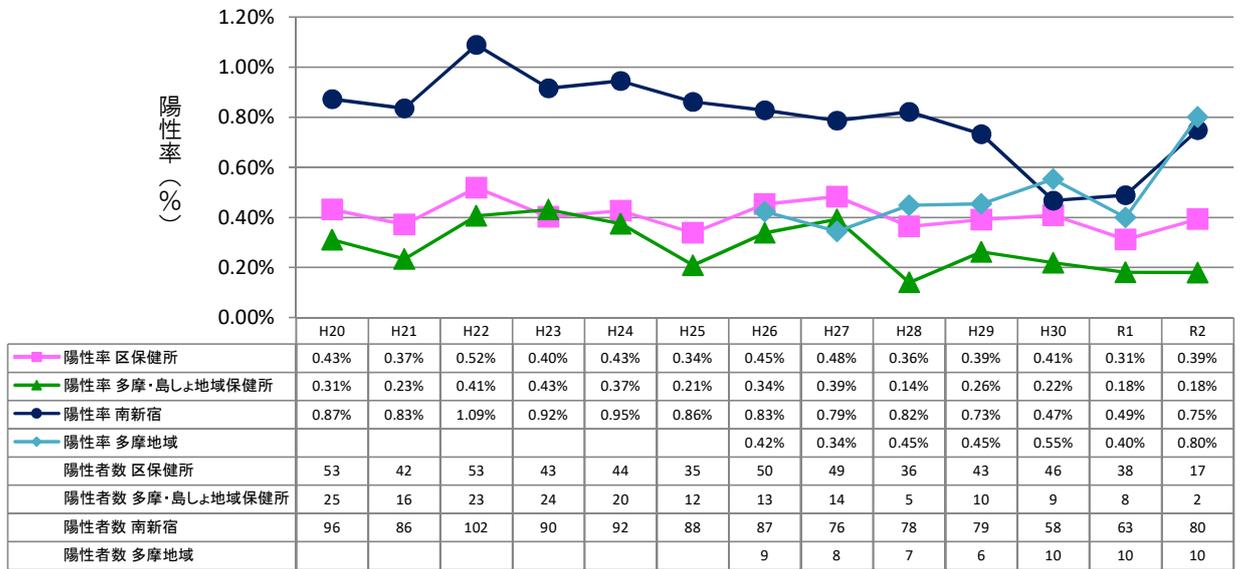
東京都の HIV検査 件数年次推移



※平成25年度までは多摩地域検査・相談室の実績は多摩・島しょ地域保健所に合算、平成26年度から別掲とした

区保健所では、平成20年以降10,000件前後で推移していたが令和2年は前年と比べ減少し、5,000件を下回った。
 多摩・島しょ地域保健所では、多摩府中保健所での検査開始(平成19年)や、多摩地域検査・相談室の定着により平成22年より5,000件代で推移していたが、平成29年には3,000件台に減少した。令和2年度は前年度から減少し、1,109件であった。
 南新宿検査・相談室の検査件数は、土・日曜日の検査を開始した平成15年より増加し、平成16年からは11,000件前後で推移していた。その後は、平成19年をピークに10,000件前後で推移している。平成27年に10,000件を下回ったが、平成29年以降は再び10,000件を上回っている。
 多摩地域検査・相談室の検査件数はH30年、令和元年と増加したが、令和2年は減少し、1,249件であった。
 令和2年の検査件数合計では、新型コロナウイルス感染症への対応に伴う保健所検査の休止や、外出自粛要請に伴う受診控え等の影響により、前年比約45.7%の減少であった。

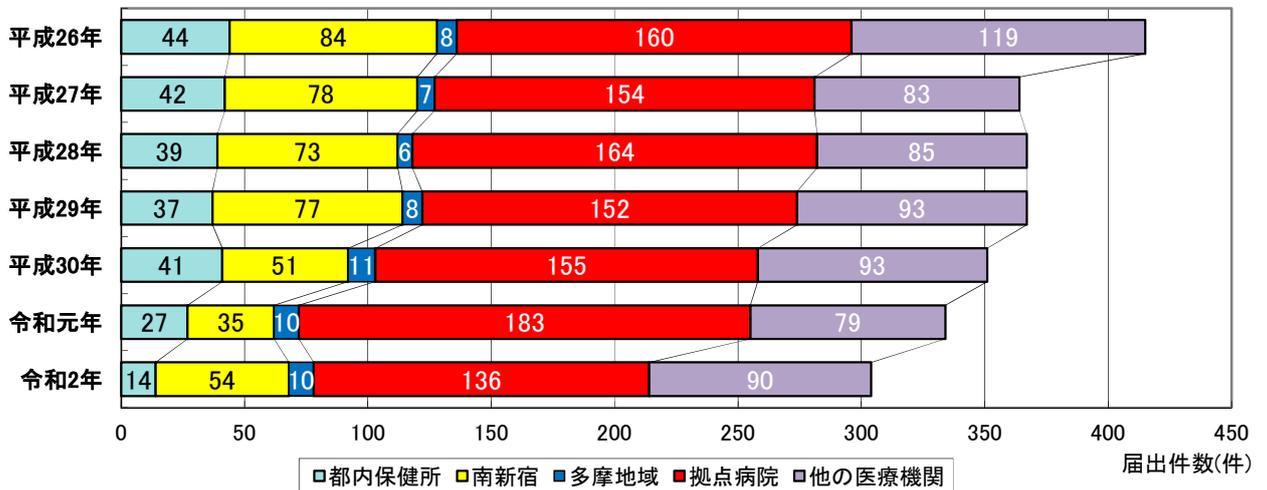
2-6
東京都の
HIV検査に
おける陽性
件数・陽性
率年次推移



令和2年は、区保健所では陽性件数は前年度より減少し、陽性率は高くなった。多摩・島しょ地域保健所では陽性件数は前年より減少し、陽性率は横ばいであった。南新宿検査・相談室では、陽性件数は前年と比べ増加し、陽性率も高くなった。多摩地域検査・相談室では、前年と陽性者数は同数であったが、陽性率は高くなった。

[医療機関]

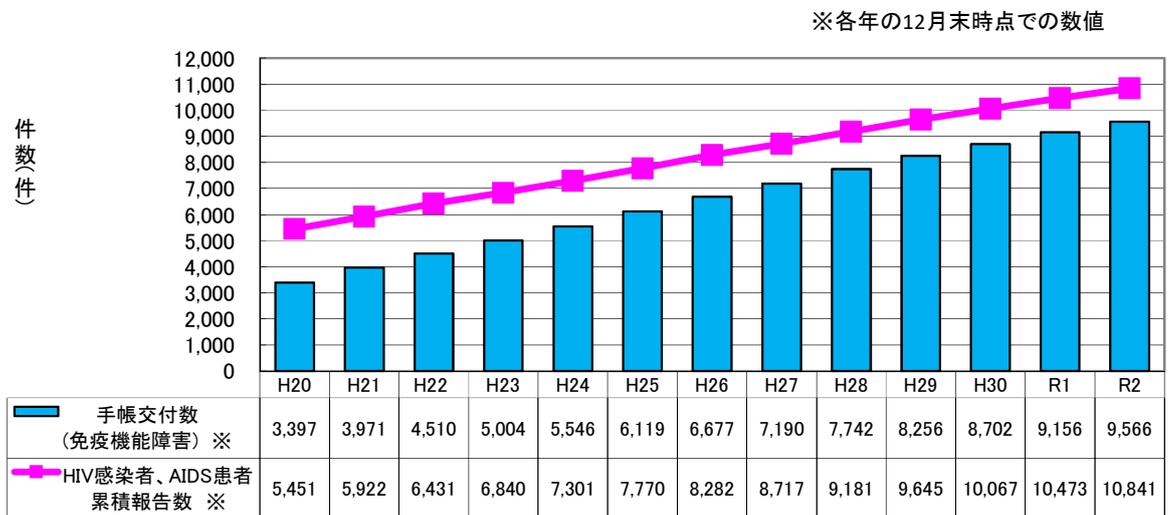
2-7
東京都の
HIV感染者
報告の届出
別割合
(平成26年～
令和2年)



令和2年は、拠点病院からの届出件数が前年と比べ25.7%減少した。一方で、南新宿検査・相談室からの届出件数は54.3%増加した。

[身体障害者手帳]

2-8
東京都の
HIV感染
者、AIDS患
者累積報告
数と身体障
害者手帳
(免疫機能
障害)交付
数年次推移

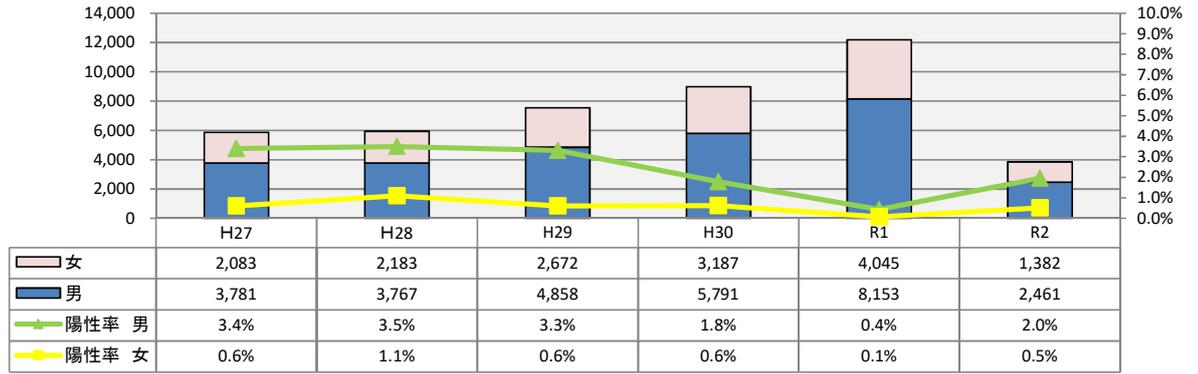


HIV感染者、AIDS患者の累積報告数の増加とともに、身体障害者手帳(免疫機能障害)の交付数も年々増加している。令和2年の免疫機能障害による身体障害者手帳交付台帳登録は前年に比べ410件増加した。

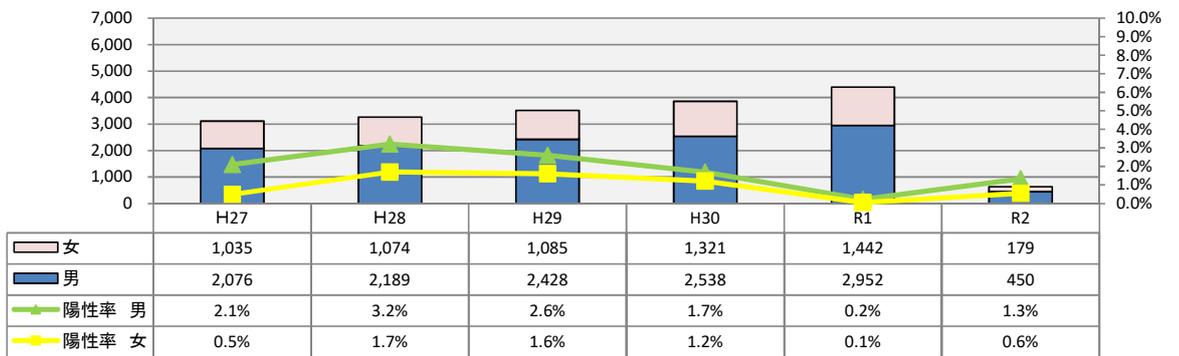
[性感染症検査]

2-9
東京都の梅毒検査における検査件数と陽性率の年次推移

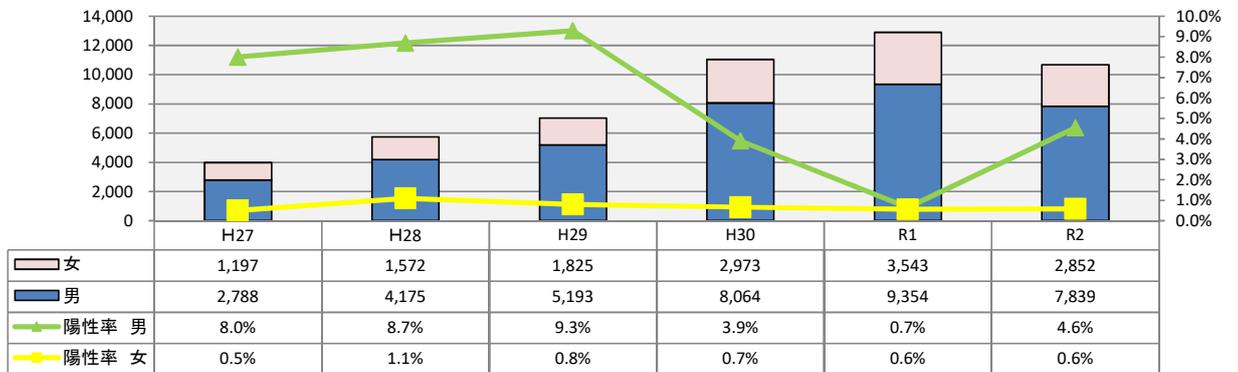
[区保健所]



[多摩・島しょ地域保健所]



[南新宿検査・相談室]



[多摩地域検査・相談室]



梅毒検査:平成30年4月より多摩地域検査・相談室ではHIV即日検査実施時に梅毒検査を開始した。
区保健所、多摩地域保健所、南新宿検査・相談室、多摩地域検査・相談室において検査件数は前年より減少した。
陽性率は、区保健所、多摩地域保健所、南新宿検査・相談室、多摩地域検査・相談室において前年より高かった。

3. 世界及び全国のHIV感染者・AIDS患者数

○世界のHIV/AIDS流行状況 2020年末現在 (UNAIDS/WHO)

○日本のHIV感染者、AIDS患者累計数2020年末現在(厚生労働省)

HIV 感染者数(推計値)

3,760 万人(3,020 万—4,500 万人)

HIV感染者報告の累計数

22,489人

2020年における新規HIV 感染者数 (推計値)

150万人(110 万—210 万人)

AIDS患者報告の累計数

9,991人

2020年におけるAIDS による死亡者数 (推計値)

69 万人(48 万—100 万人)

実際の数値は推計値の右側 () 内に記載された数値の範囲内に存在する。
これらの数値は入手可能な最良のデータを基にして算出されている。

★東京都新宿東口検査・相談室 HIV通常検査・梅毒通常検査 (匿名・無料、電話又は携帯からの予約制)

ホームページ <https://www.tmsks.jp>

【予約検査】

予約受付番号 03-6273-8512

予約受付時間 月～金 (祝日を除く) : 午後3時30分から午後7時30分まで

土・日 (祝日を除く) : 午後1時から午後4時30分まで

※聴覚障害者の方のみ、ファクシミリでの予約申込みができます。

ファクシミリ 03-6273-8532 (予約受付時間は上記と同じ)

★東京都多摩地域検査・相談室 HIV即日検査・梅毒即日検査 (匿名・無料、予約制及び先着順)

【予約検査】

予約受付番号 080-2022-3667

予約受付時間 月～金 (祝日を除く) : 午前10時から午後4時まで

検査受付時間 土曜日 (祝日を除く) : 午前10時から午後3時まで

【先着順検査】

検査受付時間 土曜日 (祝日を除く) : 午後1時から午後3時まで

問い合わせ先 090-2537-2906 (日・祝・年末年始除く午前9時30分から午後5時まで)

※先着順検査は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止している場合があります。

必ず事前にご確認ください。

★東京都HIV/エイズ電話相談 電話 03-3227-3335

(月～金 : 正午から午後9時まで、土・日・祝日 : 午後2時から午後5時まで)

★HIV/エイズに関する相談・検査 (匿名・無料) は各保健所へ (一部休止中の場合があります)

【発行】東京都福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課エイズ対策担当
〒163-8001 新宿区西新宿二丁目8番1号